

写真図説 僧侶のための作法入門

一 姿を整える - 衣体

折り目正しい身支度 - 着付けの心得
美しい服相 - 法服の心得
整え、仕舞う - 脱ぎ方・たたみ方・手入れの心得

二 立ち居を整える - 威儀

流麗な振る舞い - 威儀の心得
正しく捧げ持つ - 執持の心得

三 形を整える - 荘厳・仏具

ありがたきお迎えする - 尊像の心得
厳かにお迎えする - 荘厳と仏具の心得
恭しくお迎えする - 鍵椎の心得

四 人と接する - 日常の作法

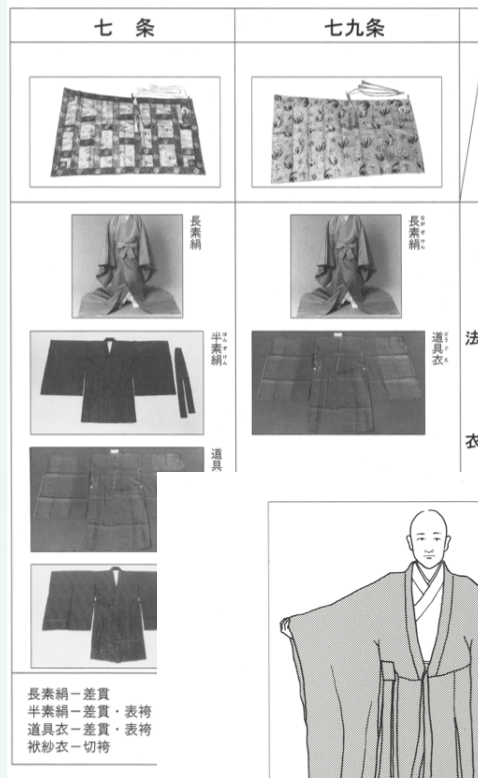
快い響き - ことばの心得
すがすがしい仕草 - 日常作法の心得
見目よく食する - 食事作法の心得

五 付録

葬儀のマナーと常識

■袈裟・法衣・袴の種類と組み合わせ例

■袈裟・法衣・袴の種類と組み合わせ例

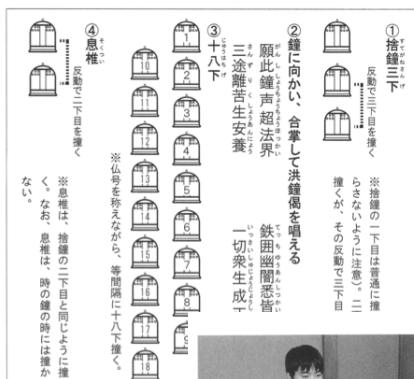


4. 道具衣の袖口を持ち、ピンと引っ張って、道具衣を白衣になじませる。

■道具衣の着方

■鍵椎物の打ち方

■鍵椎物の打ち方

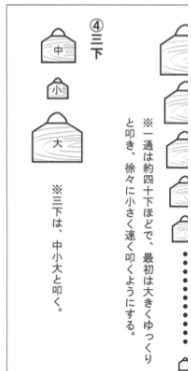


1. 鍵椎の二下目には普通に握る。二下目には普通に握る。二下目には普通に握る。

9. 正座に戻る。



8. もう一方の足を上げ、踵を揃えて、跪座になる。



2. 下座側の足を下座側に少し開き、



1. 正座から両足の爪先を立て、跪座になる。



4. 上座側の足を少し浮かして、



3. 残った足を揃えた足につけ、踵を揃える（爪先が座布団の外に出ていないかつたら、膝行して爪先を出す）

■七条をつける

■七条をつける

修多羅の結びの美しさは、まず第一に目に入るものですから、この結びがきちんとしているかどうかで第一印象が決まる、といってもよいでしょう。



■関東風



■関西風



七条の仕立ては、関西と関東で違いがあります。